

<四日市南高校「数理科学コース」 新たな学びの挑戦がスタート！>

—— 第1回 2学年「数理集会」を開催

令和8年4月10日、数理科学コースの2年生を対象とした「第1回数理集会」を開催しました。令和8年度、四日市南高校の数理科学コースは、教科の枠を超え、実社会の課題を論理的・創造的に解決する力を養う新たなプログラムを始動させます。

■ 数理科学コースが目指すもの

本コースでは、単なる知識の習得にとどまらず、「数学」と「理科」を軸とした高度な思考力と、それらを活用して社会に貢献する力を育成します。目指すのは、これからの社会を牽引するリーダーの素養です。

- ・好奇心と探究心: 学問の本質を追究する姿勢
- ・バランスの取れた学力: 広い知見に基づいた多角的な視点
- ・論理的思考力・表現力: 根拠に基づき、他者を納得させる対話力
- ・創造力: 前例のない課題に対し、解決策を導き出す力

■ 「学際的」な学びへのアプローチ

2学年の年間目標は、「専門分野が社会で果たす役割や意義を理解し、広い視野から進路を捉えること」です。

世界は一つの学問領域だけでは成り立っていません。工学、医療、人文科学、経済 ……

すべての分野は「学際的（横断的・融合的）」に繋がっています。私たちは、以下の7つのチームに分かれ、この繋がりに着目した探究活動を展開します。

チーム構成: 「工学」・「理・情報工」・「化学・生物」・「医・看護・リハビリ」・「経済・商学」・「人文・法・社会」・「教育」

各チームでは、大学の研究や企業の取組に触れる実体験、専門分野に関連するニュースの意見交流など、座学だけでは得られない「社会との接点」を追究していきます。

■ 未来へのチャレンジ（コンペティション・探究）

学んだ理論を武器に、私たちは外の世界へ挑みます。「数学オリンピック」「科学オリンピック」「各種スピーチコンテスト」へのチャレンジや、探究フォーラムでの発表など、授業で得た知見を「社会実装」する場を数多く設けています。

★「答えのない問い」に対し、自ら解を見つけ出す。

本校数理科学コースでの学びは、南高生一人ひとりが未来を選択するための、確かな地図となります。